九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

電気自動車用トランスミッション歯車の摩耗進展量制御に基づくピッチング限界寿命向上に関する研究

熊谷，幸司

https://hdl.handle.net/2324/4475118

出版情報：Kyushu University, 2020, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

（様式５－２）

氏　　名	熊谷　幸司
論　文　名	電気自動車用トランスミッション歯車の摩耗進展量制御に基づくピッチング限界寿命向上に関する研究
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　黒河　周平 副　査　　九州大学　　教授　　品川　一成 副　査　　九州大学　　教授　　杉村　丈一

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本研究は、電気自動車用トランスミッション歯車のピッチング損傷について、高効率かつ低振動を達成可能な設計条件において高負荷運転実験を行うとともに、寿命に影響を与える摩耗進展の数値計算によりピッチング発生メカニズムについて詳細に解析し、摩耗進展量制御に基づくピッチング限界寿命向上策の確立に繋げたものであり、機械工学上価値ある業績であると認める。

（様式５－２）

氏　　名	熊谷　幸司
論　文　名	電気自動車用トランスミッション歯車の摩耗進展量制御に基づくピッチング限界寿命向上に関する研究
論文調査委員	主　査　　九州大学　　教授　　黒河　周平 副　査　　九州大学　　教授　　品川　一成 副　査　　九州大学　　教授　　杉村　丈一

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本研究は、電気自動車用トランスミッション歯車のピッチング損傷について、高効率かつ低振動を達成可能な設計条件において高負荷運転実験を行うとともに、寿命に影響を与える摩耗進展の数値計算によりピッチング発生メカニズムについて詳細に解析し、摩耗進展量制御に基づくピッチング限界寿命向上策の確立に繋げたものであり、機械工学上価値ある業績であると認める。